

# 男子ホッケーU21日本代表チーム マレーシア遠征

日付	2015年2月12日 21:00~22:15		
場所	マレーシアクアラルンプール	天候	雨のち曇り
試合	第2戦	通算結果	日本 2勝

## RESULT

Country

**日本**  
U21

Final	<b>2</b>	-	<b>1</b>
Third Period			
Half-time	<b>1</b>	-	<b>1</b>
First Period			

Country

**マレーシア**  
U21

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
10	2	青山力也(東農大)			
✓	3	川村敬亮(明治大)			
✓	4	内藤 幹(立命大)			
12	5	木下拓弥(立命大)			
16	6	新井大地(立命大)			
7	7	渡辺晃大(丹生高)			
✓	8	小沢 諒(山学大)			
6	9	山崎晃嗣(山学大)			
✓	10	伊藤義一(山学大)			
✓	11	朝倉祐樹(山学大)	39		
7	13	福田健太郎(天理大)			
11	14	田中海渡(天理大)			
✓	15	落合大将(天理大)(C)			
✓	16	山水翼瑒(天理大)			
✓	17	山田翔太(天理大)			
✓	18	和久利裕貴(天理大)			
	1	高橋優成(駿河台大)(GK)			
✓	12	吉川貴史(天理大)(GK)			
✓	19	宮崎俊哉(早稲田大)			
12	20	近藤辰徳(丹生高)			
Coach		坂本 実			
Manager		朱 光珍			
UMPIRE		K. Ligan			

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
6	4	Luqman Nur Hakim			
6	22	Maxhans Christi			
✓	28	Mohammad Ridzwan(GK)			
✓	3	Mohd Ashran B.Hamsani			
	24	Zulhelui			
✓	14	Muhd Amirrol Aideed	50		
✓	10	Muhd Azwar B.Abd Rahman			
✓	7	Muhd Najim B.Abu Hassan(C)			
✓	26	Muhd Najimi Farizal			
11	9	Muhd Sufi Ismat		13	
✓	21	Ashrae			
6	13	Norsyafiq B.Sumantri			
✓	17	Rafizul Ezry B.Mustafa			
✓	19	Syed Mohd Syafiq			
10	20	ILuqman			
10	24	Aulhelmi			
6	11	Kamarul			
	1	Amirul Afiq B.Azhar(GK)			
✓	5	Azril B.Misron			
✓	15	Nik Muhammad Aiman			
Coach		Arul Selvarai			
Manager		Mirmawan Nawawi			
UMPIRE		Nor Azhar Abidin			

Team	Minute	Name	Action	Score
MAS	1	Rafizul Ezry B.Mustafa	FG	0-1
JPN	26	宮崎俊哉	PC	1-1
JPN	61	近藤辰徳	FG	2-1

Team	Minute	Name	Action	Score

小雨の降る中、第2戦がナショナルホッケースタジアムブギットジャリルの会場で行われた。このスタジアムは、14,000人の観客を収容できる会場であるが、観客は無く、無観客試合と同様の状況であった。昨日、日本に負けているマレーシアは、必死の様相で挑んできた。こちらにも負けじと同様な気持ちで臨んだもののマレーシアの気持ちがスタート時点から上回っていた。立ち上がりから日本は若干緊張感が薄く感じられた。その中で試合開始早々、自陣での単純なパスをカットされ、そのままサークルインシブッシュシュートされ得点を許してしまう。一本のパスミスで得点までされることへの怖さを選手は知ったようであった。その後、20分間はマレーシアのペースで試合が進み、失点の場面も多々あったもののGK吉川を中心にDF陣がよく凌いだ。また、相手のミスにも助けられたことは事実であった。前半20分後からは徐々に日本にもリズムが始め攻撃が出来るようになった。25分No.10伊藤が右サイドからオーバーラップを仕掛け、そのままサークルインシブッシュシュートを誘った。そのPCのリバウンドをNo.19宮崎が押し込み同点とする。このまま前半が終了となった。後半の立ち上がりから、日本ペースで試合が進むものの追加点がなかなか奪えない。そんな中、マレーシアのGKが負傷し試合が中断する。その直後に、No.16山水の自陣からのロングヒットでサークル内に位置していたNo.20近藤に繋がり、ボールを受けて左ヘボールをコントロールしレバースヒットでボールがゴールに転がり込んで追加点となり逆転となった。その直後からマレーシアの猛攻が約10分間続き、PCも3本与えてしまうが、No.12GK吉川、No.17山田、No.10伊藤、No.3川村、No.4内藤、No.6新井のDF陣が良く守り、勝利へと導いた。更に、アウェイというハンディもありながら、守り切ったことでの勝利は、選手の成長が少し感じられた一戦であった。このジュニアの選手たちは「何かを持っている」ように窺えた。

日本U21	シュート数		マレーシアU21
	2	6	
	PC数		

次戦(第3戦) 2月14日(木) 19:30 ~ 日本U21対マレーシアU21

掲載責任者 男子U21責任者 坂本 実